

目 次

繊維情報

- ・2006年3月の繊維品輸出概況(繊維品全体・原料・織編物・主要二次製品)..... 1
- ・2006年2月の繊維品輸入概況(繊維製品計・糸類・織物類・衣類)..... 8
- ・アジア 中 国 2006年1~2月の繊維品貿易・輸出入とも大幅増..... 11
- インドネシア 2005月の繊維品貿易・輸出は2桁の増加、輸入は低調な推移..... 14
- ・米 州 米 国 2006年2月の繊維品輸入、中国が大幅減..... 17
- 2006年3月の大手小売店販売、減速..... 20
- ・欧 州 E U 2005年の繊維品域外貿易・輸出入共に若干の増加..... 23

組合関係の会議と催事

- ・(2006年4月)(2006年5月のスケジュール)..... 26

お知らせ

- ・輸出入組合合同の通常総会及び懇親会の案内(輸出入)..... 29
- ・「繊維の基礎知識」研修会(京阪神地区)の開催(輸出入)..... 29
- ・繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」(輸出)..... 30
- ・「カーボヴェルデ」向け他3カ国の保険引受方針変更(輸出)..... 31
- ・「タイ国衣料品展示商談会」2006in TOKYO/OSAKA 開催の案内(タイ)..... 32
- ・6月の輸入通関手続相談窓口開設日(輸入)..... 33

組合員情報

- ・組合員情報..... 33



2006年3月の繊維品輸出概況

- ・ 繊維品全体の輸出
- 前年同月比 6%減の 6 億 8,763 万ドルと再び減少推移 -

2006年3月の繊維品輸出は、ドルベースで、前年同月比 6%減の 6 億 8,763 万ドル（1 - 3 月前年同期比：6%減）と、前月の 8 ヶ月振りの増加から、再び減少に転じた。

なお、為替が 2005 年 3 月の 105.31 円に対し、2006 年 3 月は 117.31 円と約 11%の円安推移となっていることから、円ベースでは 5%増（同 6%増）の 806 億 6,600 万円と前月に続き増加している。

< 主要地域別輸出 >

3月の輸出を主要地域別に見ると、全輸出の 76%を占め、わが国の輸出動向を左右する最大市場の東アジア向けが、前年同月比 6%減（同 6%減）の 5 億 1,916 万ドルと、前月の 8 ヶ月振りの増加から再び減少に転じたのが全体の輸出減少に繋がっている。

東アジアの主要国向けでは、韓国、ベトナム、マレーシア、フィリピンが増加推移となったが、最大市場の中国、香港、台湾、タイ、シンガポール、インドネシアが減少推移となった。中でも中国の不振は、先行きの懸念材料。

純輸出市場向けは、シェア 5%の西アジアは、サウジアラビアが微減に終わったが、アラブ首長国、イランが大幅に増加し、全体として 18%増（同 17%増）の 3,302 万ドルと、オイル景気もあり、このところ好調な推移となっている。

欧米市場は、シェア 8%の EU は織物類、原料（綿・糸）ともに振るわず 16%減（同 15%減）の 5,902 万ドルと後退推移、一方シェア 7%の米国は織物類の不振を、原料（綿）、不織布の好調でカバーし、横ばい（同 1%減）の 5,143 万ドルとなった。

< 主要地域別輸出 >

3月の輸出を主要商品別にみると、まず綿類の輸出は、全体としては、数量で横ばい（同 1%減）、金額で横ばい（同 2%増）と数量、金額共に横ばい推移となった。

太宗の合繊綿は、数量で 5%増（同 2%増）、金額で 6%増（同 4%増）となった。

この内、主力のアクリル綿は、主要国の中国、イランが増加し、インドネシアは落ち込んだが、数量で 5%増（同 3%増）、金額で 9%増（7%増）と堅調な推移となった。

一方、ポリエステル綿は、中心のタイ、中国、EU、米国が増加し、数量で 11%増（同 1%増）、金額では 10%増（同 3%減）となった。

繊維製品輸出実績（2006年3月）

単位	2006年3月				2006年1月～3月				2005年実績				
	数量	金額		前年同月比	数量	金額		前年同期比	数量	金額			
		千ドル	百万円			千ドル	百万円			千ドル	百万円	千ドル	百万円
繊維品総合計													
原料(綿)合計	42,990	80,666	687,631	94	105,099	211,566	1,807,911	106	94	890,100	8,070,165		
スフ綿	5,066	11,685	99,607	100	14,932	29,408	251,317	99	114	107,778	978,717		
合繊綿	34,829	2,036	17,358	80	82,403	6,154	52,645	93	100	23,495	212,920		
(ポリエステル)	4,935	9,389	80,039	106	11,941	22,640	193,417	102	116	81,370	739,213		
(アクリル)	27,234	898	7,653	111	63,195	2,100	17,948	101	108	7,900	71,868		
糸 合計	12,140	8,955	76,335	96	32,855	23,616	201,855	98	102	95,133	864,266		
人絹糸	999	850	7,244	77	2,966	2,535	21,675	89	115	9,694	87,856		
スフ糸	13	23	197	57	63	81	696	76	73	430	3,918		
合繊長糸	10,303	7,233	61,653	100	27,449	18,605	159,016	100	101	72,886	662,944		
(ナイロン)	2,232	1,597	13,614	96	6,330	4,410	37,704	91	102	16,878	153,473		
(ポリエステル)	4,033	1,883	16,054	103	9,911	4,525	38,667	100	102	17,695	161,032		
合繊短糸	403	329	2,808	82	891	740	6,323	85	104	3,565	32,329		
綿糸	286	243	2,071	74	1,140	867	7,416	92	90	4,213	38,008		
織物合計	101,929	30,425	259,356	96	272,399	80,457	687,478	99	100	359,644	3,257,973		
絹織物	867	1,284	10,942	122	2,034	3,173	27,097	120	101	13,387	121,576		
人絹織物	6,348	2,416	20,592	86	15,537	6,005	51,295	91	106	25,408	230,287		
スフ織物	910	332	2,827	75	2,600	1,039	8,896	82	78	5,172	46,859		
合繊長織物	45,220	9,953	84,841	101	120,053	25,947	221,750	103	105	121,637	1,100,944		
(ナイロン)	5,424	1,228	10,469	95	14,557	2,960	25,287	116	131	11,881	107,382		
(ポリエステル)	33,859	7,106	60,573	100	89,320	18,442	157,604	100	103	91,064	824,217		
合繊短織物	14,489	3,424	29,190	96	43,530	9,505	81,207	105	102	39,477	358,090		
絹織物	31,287	11,001	93,778	95	80,280	28,606	244,410	94	97	112,859	1,023,683		
毛織物	2,107	1,462	12,465	76	6,417	4,584	39,166	76	84	38,815	350,009		
不織布	50,687	5,607	47,796	104	144,943	14,876	127,170	105	121	55,758	505,607		
タイヤコード織物	1,532	282	2,400	92	3,804	677	5,785	93	105	2,565	23,416		
コーテッド織物	1,646	3,897	33,224	97	3,696	9,182	78,426	96	106	42,650	387,386		
ニット生地		5,729	48,833	102		15,416	131,697		115	66,435	600,666		
アパレル		3,505	29,875	87		10,275	87,854		97	40,709	370,175		
その他		10,582	90,206	99		27,659	236,329		111	119,428	1,081,958		

(注) 1. 繊維品総合計は、HS関税分類11部の合計。 2. 原料(綿)、糸、織物合計は分類番号50類から55類までのそれぞれの合計。

3. アパレルは61類(ニット製衣類)と62類(布帛製衣類)を合算したもの。 4. その他は、63類及び56類～59類の一部商品。

その他の合繊綿では、ビニロン綿は、主力の EU 向けが減少し、数量で 15% 減(同 13% 減)、金額で 10% 減(同 15% 減)となった。

スフ綿は、韓国、パキスタンが増加したが、主力の中国、インドネシア、南アフリカが減少し、数量で 20% 減(同 7% 減)、金額で 17% 減(同横ばい)となった。

糸類の輸出は、数量で 4% 減(同 2% 減)、金額で 7% 減(9% 減)となった。

主力の合繊長繊維糸は数量で横ばい(同横ばい)、金額で 7% 減(同 10% 減)となった。

その内訳は、ポリエステル糸は、中国を中心とする東アジア向けが量的に伸び、数量で 3% 増(同横ばい)となったが、単価が低下したことから金額では 4% 減(同 9% 減)となった。一方、ナイロン糸は、主力のタイ、中国が量的に減少し、数量で 4% 減(同 9% 減)となったが、単価が上昇し、金額では 3% 増(9% 減)となった。その他の合繊長繊維糸では、ポリウレタン糸は、太宗の中国を中心とする東アジアが大幅に減少し、数量で 18% 減(同 3% 減)、金額で 29% 減(同 29% 減)と大きく後退した。

また、人絹糸は、EU は好調に推移したが、中国、韓国が大幅に減少し、数量で 23% 減(同 11% 減)、金額で 5% 減(同 3% 増)となった。

太宗の織物類の輸出は、数量で 4% 減(同 1% 減)、金額で 11% 減(同 11% 減)となった。

織物の内訳では、中心品目のポリエステル長繊維織物は、数量で横ばい(同横ばい)を維持したが、金額では 8% 減(同 8% 減)となった。

地域的には、全体の 67% を占める東アジア向けは、最大市場の中国、韓国、香港、ベトナム、スリランカが好調に推移し、台湾、タイ、シンガポール、インドネシア等は減少推移となったものの、東アジア全体として 5% 増(同 1% 減)となった。

一方、純輸出市場向けは、西アジアは、サウジアラビアが大幅に伸び、アラブ首長国は減少したものの、西アジア全体として 5% 増(同 25% 増)となった。

欧米市場向けは、EU 向けはドイツが健闘し 28% 増(同 8% 増)と先月に続き増加、一方、米国は 43% 減(同 25% 減)と大幅な減少となった。

ナイロン織物は、数量で 5% 減(同 16% 増)となったが、単価が上昇し、金額では 15% 増(同 17% 増)となった。

シェア 84% の東アジア向けは、主力の中国、香港が健闘し、全体として 1% 増(同 23% 増)となった。その他では、シェア 6% の米国は 48% 減(同 35% 減)とほぼ半減した。

綿織物は、数量で 5% 減(同 6% 減)、金額で 13% 減(同 13% 減)と特に金額の減少が大きくなっている。

86% のシェアを占める東アジア向けは、最大市場の中国、またタイが好調に推移したものの、香港、韓国、台湾、ベトナムが減少推移となり、東アジア全体として 4% 減(同 1% 減)となった。その他の市場では、シェア 8% の米国は 2% 減(同 20% 減)と引き続き減少推移に終わった。

ポリエステル短繊維織物は、数量で 2% 減(同 7% 増)、金額で 8% 減(同 8% 減)となった。

全体の 58% を占める東アジア向けは、ベトナム、シンガポール、インドネシアが好調に推移

したものの、圧倒的シェアを占める中国、また香港が減少し、東アジア全体として2%減(同3%減)となった。一方、シェア41%の民族衣装用の西アジアは、サウジアラビア、クエートは減少推移となったが、アラブ首長国が伸び、西アジア全体として3%増(同29%増)となった。

人絹織物は、数量で14%減(同9%減)、金額で9%減(同5%減)と数量、金額共に低調な推移となった。

シェア71%の東アジアは、中国、韓国が増勢で推移したが、香港が大幅に減少し、東アジア全体として14%減(同7%減)となった。シェア14%の西アジアは、サウジアラビア、アラブ首長国が揃って減少推移となり、全体として12%減(同横ばい)となった。一方、欧米市場は、EUが13%減(同14%減)となったが、米国は50%増(同16%減)と徐々に大幅な増加となった。

毛織物は、数量で24%減(同24%減)、金額で25%減(同25%減)と数量、金額共に大幅な減少推移となった。

地域的には、東アジアが95%とほぼ全量を占めている。中でも、圧倒的なシェアを占める持ち帰り用の中国、香港、ベトナムが軒並み減少し、東アジア全体として29%減(同26%減)となった。

不織布の輸出は、数量で4%増(同5%増)、金額で8%増(同8%増)と、このところ堅調な推移が続いている。

全体の55%を占める東アジアは、最大市場の中国、また香港は好調に推移したが、韓国、台湾、タイが激減し、全体として18%減(同11%減)となった。

一方、欧米市場は、シェア35%の米国は72%増(同66%増)と、このところの激増しており、また、シェア7%のEUも33%増(同1%増)と大幅な伸びとなった。

コーテッド織物の輸出は、数量で3%減(同4%減)、金額で8%減(同5%減)となった。

全体の79%を占める東アジアは、主要輸出先の中国は増加したが、香港、韓国、台湾、ベトナム、タイが不振に終わり、全体として10%減(同5%減)となった。欧米市場は、シェア7%のEUは57%増(同28%増)と好調に推移したが、シェア5%の米国は53%減(同49%減)と半減した。

ニット生地の輸出は、数量で7%増(同10%増)、金額で2%増(同3%増)と数量、金額共に堅調な推移となった。

全体の約9割強を占める東アジア向けは、主要国では、香港は大幅な減少となったが、最大市場の中国、韓国、台湾、ベトナム、タイ、インドネシアは何れも増勢推移となった。一方、欧米市場向けは、米国は大幅な増加が続いているが、EUは減少推移が続いている。

アパレルの輸出は、前月は久し振りに増加したが、3月は、金額で13%減(同14%減)と再び減少推移となった。

内容的には、布帛製衣類の外衣類は、香港、米国が大幅に増加、中国、台湾、韓国、EUの

減少をカバーし、金額で2%増(同13%減)となった。下着類は、台湾、韓国が大幅に増加し、中国、ベトナム、EU、米国は低調に推移したが、金額で28%増(同4%増)となった。

一方、ニット製衣類は、外衣類は、中国、香港、米国が増加したが、台湾、韓国、EUが減少し、金額で1%減(同横ばい)となった。一方、下着類は、米国は増加したが、韓国、中国、台湾、香港が低調な推移となり、金額で38%減(同24%減)と大幅な減少となった。

・原料(綿・糸)の輸出

<綿輸出>

合繊綿、スフ綿などの綿合計は、スフ綿、ビニロン綿が減少推移となったが、主力のアクリル綿及びポリエステル綿、ナイロン綿が増加推移となり、全体では横這い推移の42,990トンとなった。また、金額についても横這いの9,961万ドルとなった。

<糸輸出>

糸は、主力の合繊長繊維糸が横這い推移となった他は、全般的に不振に推移し、全体では4%減の12,140トン、金額についても7%減の7,634万ドルとなった。

2006年3月の原料(綿・糸)の輸出状況

単位：トン、千ドル、セント、%

	2006年3月				2006年1～3月			
	数量	前年 同月比	金額	単価	数量	前年 同期比	金額	単価
スフ綿	5,066	80	17,358	343	14,932	93	52,645	353
合繊綿	34,829	105	80,039	230	82,403	102	193,417	235
ホ°ポリエステル	4,935	111	7,653	155	11,941	101	17,948	150
アクリル	27,234	105	60,889	224	63,185	103	142,006	225
他合繊綿	2,660	92	11,496	432	7,278	92	33,462	460
人絹糸	999	77	7,244	725	2,966	89	21,675	731
合繊長糸	10,303	100	61,653	598	27,449	100	159,016	579
ナイロン	2,232	96	13,614	610	6,330	91	37,704	596
ホ°ポリエステル	4,033	103	16,054	398	9,911	100	38,667	390
他合長糸	4,039	99	31,985	792	11,208	107	82,645	737
綿糸	286	74	2,071	725	1,140	92	7,416	650

出所：財務省統計

・織・編物（絹・化合織・綿・毛）の輸出

3月の織物（絹・化合織・綿・毛）の輸出は、ポリエステル長繊維織物が量的に横ばい推移となった他は、綿織物、毛織物等の主要織物は揃って量的に低調に推移、また単価も低下している品目が多く、織物トータルで、数量で前年同月比4%減（1-3月前年同期比1%減）、金額では11%減（同11%減）となった。

なお、この織物トータルの中に含まれていない、ニット生地は堅調推移、コーテッド織物は減少推移となった。

2006年3月の織・編物（絹・化合織・綿・毛）の輸出状況

（単位：1,000SM、1,000\$、前年比は数量比%）

	2006年3月			2006年1-3月		
	数量	金額	前年同月比	数量	金額	前年同期比
絹織物	867	10,942	122	2,034	27,097	120
人絹織物	6,348	20,592	86	15,537	51,295	91
スフ織物	910	2,827	75	2,600	8,896	82
合織（長）織物	45,220	84,841	101	120,053	221,750	103
ポリ（長）織物	33,859	60,573	100	89,320	157,604	100
ナイロン織物	5,252	8,710	140	9,133	14,819	133
合織（短）織物	14,489	29,190	96	43,530	81,207	105
ポリ（短）織物	13,683	27,344	98	40,741	75,935	107
綿織物	31,287	93,778	95	80,280	244,410	94
毛織物	2,107	12,465	76	6,417	39,166	76
コーテッド織物	1,646	33,224	97	3,696	78,426	96
ニット生地	16,372	48,833	107	43,051	131,697	110

（注）1．ポリエステル（長）、ナイロン（長）織物は、ポリエステル、

ナイロンの重量が全体の85%以上の織物。

2．コーテッド織物の数量単位はトン。

市場的には、織物トータルで、主力の東アジアは、主要国では、ベトナムが前年同月比数量増の金額横ばいと健闘したが、最大市場の中国を始め、韓国、シンガポールは数量増の金額減

となった。一方、香港、台湾、タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシアは数量、金額共に前年同月を下回った。

純輸出市場では、西アジアは、オイル景気もあり、サウジアラビアが数量、金額共前年同月を上回り、好調を持続、アラブ首長国は数量微減の金額増となっている。

一方、欧米市場は、EU が主力のポリエステル長繊維織物の量的な伸びにより、数量増の金額減となったが、米国はポリエステル長繊維織物、綿織物が振るわず、数量、金額共に減少推移となった。

・主要繊維二次製品の輸出

繊維二次製品の 2006 年 3 月の輸出は、金額（ドル）ベース（以下同じ）で、アパレルは布帛製では外衣が微増、下着が 2 桁増となったが、ニット製は外衣が微減、下着が大きく減少推移となり、全体では前年同月比 13% 減の 29,875 千ドルとなった。他方、その他の品目については、敷物が微増推移、漁網・その他の網・網地及び細幅織物・紐類は減少推移となった。

2006 年 3 月の主要繊維二次製品輸出状況

単位：千米ドル、金額：前年比%

	2006 年 3 月		2006 年 1～3 月	
	金額	前年同月比	金額	前年同期比
布帛製衣類・付属品	17,005	99	50,072	88
外 衣	9,558	102	29,622	87
下 着	4,788	128	12,338	104
スカーフ・マフラー	606	82	1,844	106
ニット製衣類・付属品	12,870	75	37,782	85
外 衣	4,170	99	12,708	100
下 着	6,480	62	18,591	76
敷 物	2,672	101	7,018	99
漁 網 ・ 網 ・ 網 地	3,460	86	8,738	96
細 幅 織 物 ・ 紐 類	13,800	90	40,123	94

2006年2月の繊維品輸入概況

1. 繊維製品計

2月の輸入は、金額が円ベース前年同期比103.0%（前月比は70.0%）、ドルベース同91.6%（前月比は68.5%）、数量（重量）同91.4%（前月比は67.0%）と、円金額が7ヶ月連続で増加、ドル金額は3ヶ月ぶりに減少、数量も3ヶ月ぶりの減少となった。前月比は、中国の春節休暇の影響で金額、数量ともに大幅に減少した。

糸類は数量で前年同期比4.2%減と前月よりマイナス幅を戻したものの9ヶ月連続で減少。内訳は、前月と同じく絹糸、人織（長）糸が増加、毛糸、綿糸、人織（短）糸、その他の糸が減少した。織物類は同4.1%減と3ヶ月ぶりに減少。毛織物、人織（長）織物、メリヤス生地、その他の織物が増加し、絹織物、綿織物、黄麻織物、人織（短）織物が減少した。衣類は同12.3%減と5ヶ月ぶりに増加した前月から再び減少。衣類を除くインテリア用品等の二次製品は同7.2%減と3ヶ月ぶりの減少となった。

前月は前年同期比で円金額が22.0%増加したのをはじめ、ドル金額が9.1%の増加、数量も6.3%の増加となったが、今月は円金額が3.0%増加したものの、ドル金額が8.4%の減少、数量も8.6%の減少となり、それぞれ前月より低水準での輸入となった。2月の為替相場は前年同月比12.4%の円安であった。ドル金額の内訳を見ると、糸類が0.8%と僅かに増加したものの、太宗を占める衣類は10.1%、織物類は3.6%、二次製品は1.9%減少し、繊維製品計では8.4%の減少となった。

2. うち糸類

➤ 綿糸の輸入実績は、トンベースで前月比15.3%、前年同月比も11.9%それぞれ2桁の減少となった。これは、海外紡績からの出し値が強張っていることに加え国内需要の減少によるもので、昨年11月以来となる純綿糸の輸入が2万梱台に落ち込んだことによるものである。全体の9割を占める純綿糸の輸入を前月に比較すると国別では、2位のインドが16.8%の増加となったものの、首位のパキスタンが10.3%、3位のインドネシアが30.4%、4位の中国45.9%、その他も3.6%と殆どの国で減少となった。番手別に見ても20番手中心が10.4%、30番手中心38.0%、40番手以上も10.6%と軒並み減少した。また糸種別に見てもカード糸が22.1%、コマ糸も9.4%減少となった。

➤ 毛糸の輸入実績は前年同月比重量ベース10.8%減と前月より減少幅が広がり4ヶ月連続で減少した。糸種別に見ると、紡毛糸が同49.3%増と前月に引き続き2ヶ月連続の増加となったが、太宗を占める梳毛糸が同14.0%減となった。国別では、トップシェアの中国が3ヶ月ぶりに増加した前月から一転し同11.0%減となり、第2位のマレーシアも同22.9%の減少となった。この他の国では、前月同様にタイ、インド、ペルーなどからの輸入が減少

した一方、台湾、イタリアからは大幅に増加した。

- 人織系の輸入実績は、トンベースで人織(長)糸が前月比 22.1%減となったものの、前年同月比は 4.0%の増加となった。主要商品を前月に比較すると、米国を中心とするナイロン糸は需給調整が進展したことから前月に続いて2,000トン超えの14.2%増となったものの、主力商品の台湾からのポリエステル糸が前月の2年4ヵ月ぶりの高水準輸入の反動もあり31.9%、人絹糸も26.3%それぞれ大きく減少となった。一方、人織(短)糸は主力商品のT/C、T/R糸のインドネシアからのポリエステル紡績糸が7.5%、中国、インドネシアからのマイヤー毛布用のアクリル紡績糸が30.2%、台湾、インドネシアからのガムテープ、ふすま向けのスフ糸も30.5%減少となり、全体では前月比20.1%、前年同月比も6.4%のマイナスとなった。

3. うち織物類

- 綿織物の輸入実績は、面積ベースで'04年2月以来の2,000万台の低水準となり前月比35.5%、前年同月比20.2%とともに大幅な減少となった。これは、需要の低迷もさることながら中国の春節休暇によるものと思われる。国別で前月に比較すると、量的に少ないパキスタンが僅かに増加となったものの、全体の7割強を占める中国が40.3%、2位のインドネシアも20.2%と大きく減少した。品種別でも、主力商品のポプリン、金巾、粗・細布など殆どの商品が下回った。
- 毛織物の輸入実績は、面積ベースで前年同月比0.6%増とほぼ横這いながら増加し、4ヵ月ぶりの増加となった。中国からの輸入が同3.9%増、イタリアからの輸入が2.2%増と上位2ヶ国が共に増加したが、前月に引き続き第3位のイギリスからの輸入は同17.9%の大幅減となった。品種別では、前月同様に紡毛織物が同57.9%の大幅減で9ヵ月連続減少したが、主力の梳毛織物は同6.3%増と昨年10月以来、4ヵ月ぶりの増加となった。
- 人織織物の輸入実績は、面積ベースで人織(長)織物が前月比24.7%の大幅減となったものの、前年同月比は6.4%増となり16ヵ月連続のプラスとなった。品目別に前月と比較すると、ナイロン織物が前月の大幅減の反動もあり5.1%の増加となったものの、主力商品のポリエステル織物が30.2%減、ポリプロピレン織物などその他の織物も20.7%の減少となった。国別にみると、首位の韓国が1.2%の微減に留まったものの、中国、台湾がポリエステルの大きな落ち込みにより42.9%、34.9%それぞれ減少となった。一方、人織(短)織物も主力の中国からのT/C、T/R織物のポリエステル織物が綿織物同様中国の春節の影響で40.9%の大幅減少となったのをはじめ、インドネシアからのスフ織物も30.7%の落ち込みとなったことから、全体では前月比36.9%、前年同月比も13.4%それぞれ減少した。

4. うち衣類

ニット製衣類が対前年同月比(枚数)で12.3%減、布帛製衣類も同11.8%減、身の廻り品も

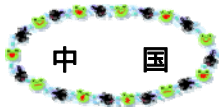
重量ベース 1.7%減となり、衣類計で重量ベース 12.3%減となった。ニット製衣類が 3 ヶ月ぶりに減少、布帛製衣類、身の廻り品も 3 ヶ月ぶりに減少し、衣類計は前月の 5 ヶ月ぶりの増加から再び減少となった。

主要国別に見ると

- 中国は対前年同月比（枚数）でニット製衣類が 14.1%減少し 3 ヶ月ぶりに減少、布帛製衣類も 16.3%減少し 3 ヶ月ぶりに減少、身の廻り品も重量ベース 2.9%減で 3 ヶ月ぶりの減少となった。今年 1～2 月の衣類計（重量）のシェアは 89.5%（金額ベースでのシェアは 78.6%）。
- 韓国はニット製衣類が同 16.1%減少、布帛製衣類は同 166.1%増となり 10 ヶ月連続で 1.5 倍を超える大幅増加となった。ニット製衣類が 2 ヶ月連続で減少、布帛製衣類は 11 ヶ月連続で増加した。
- イタリアはニット製衣類が同 13.0%減と 14 ヶ月連続で減少、布帛製衣類も同 3.3%減と 9 ヶ月連続で減少。
- ベトナムはニット製衣類が同 6.7%増と 3 ヶ月ぶりに増加、布帛製衣類も同 6.3%増と 5 ヶ月連続で増加した。
- 商品別には、ニット製衣類ではスーツ、ジャケット、ドレス、スカート、スポーツウェアが増加、コート、アンサンブル、ズボン、アウターシャツ、セーター、下着類が減少。中でも、ジャケットは前月に引き続き増加し対前年同月比（枚数）75.1%増となった。布帛製外衣類では紳士用が同 13.4%減、婦人用も同 11.4%減少した。紳士用では、コート、スーツ、ジャケット、ズボン、下着類が揃って減少、婦人用は、ドレス、スカートが増加、コート、スーツ、アンサンブル、ジャケット、ズボン、ブラウス、下着類が減少となった。

前月は数量が 6.3%の増加、金額は円が 22.0%の増加、ドルが 9.1%の増加となったが、今月は数量が 8.6%の減少、金額は円が 3.0%の増加、ドルが 8.4%の減少となり、前年同月比で 10%を超える円安要因で増加した円金額以外は減少となった。

今月減少の要因は、1 月末から 2 月上旬にかけての中国の春節(旧正月)休みの影響が大きい。旧正月の前倒し輸入で増加となった 1 月からの累計で前年同期と比べると、数量が 0.2%の減少、ドル金額は 1.3%の増加とほぼ前年並みとなっており、今後、今月のような大幅減少が続く可能性は低いと見られる。



2006年1～2月の繊維品貿易・輸出入とも大幅増

【輸出】

- 15%増の160億321万ドル、但し2月の伸びは大幅に減速 -

新たに欧米向けに規制枠が設定され、その動向が注目される、2006年度の中国の繊維輸出であるが、1～2月の輸出は、前年同期比15%増と依然2桁の伸びを記録している。

しかし、これを単月で見ると、1月の24%増に比べ、2月は4%増と、米国、EU向けの伸びが昨年前半は急増したこともあり、その伸びは大幅に減速している。

< 地域別・国別輸出状況 >

地域別では、東アジアがシェア42%（前年同月比：19%増）を占め、西アジアが6%（同26%増）、ヨーロッパが25%（同16%増）、北米が15%（同1%増）、中米が3%（同32%増）、南米が2%（同19%増）、アフリカが5%（同17%増）、大洋州が3%（同13%増）の市場構成となっている。

国別では、1位EU（27億1,771万ドル：2%増）続いて日本（24億2,465万ドル：11%増）、米国（21億1,932万ドル：3%減）、香港（20億5,609万ドル：10%増）、韓国（6億5,466万ドル：45%増）、ロシア（4億9,321万ドル：72%増）、オーストラリア（3億6,986万ドル：11%増）、カナダ（3億5,541万ドル：31%増）、アラブ首長国（3億1,316万ドル：7%増）、シンガポール（2億5,672万ドル：116%増）の順で、この10大市場で全体の輸出の73%のシェアを占めている。

昨年は枠が撤廃されたEU、米国向けが衣料品を中心に、特に突出した伸びとなったが、今年は欧米に枠が新たに設定されたこと、前年の伸び率が大幅であったことより、EU、米国の伸びは大幅に鈍化（特に米国はマイナスに転じた）している代わりに、東アジア等その他の地域向けが、比較的好調に推移していることが特徴的な傾向である。

< 品目別輸出状況 >

品目別では、まず、中国の繊維品輸出全体の61%を占める最大輸出品目の衣料品及び同付属品の輸出は、欧米向けの伸びが昨年に比べ大幅に減速し、15%増の99億425万ドルとなった。

内容的には、ニット製の衣料品及び同付属品の輸出が21%増の44億2,777万ドル、また布帛製衣料品及び同付属品の輸出は12%増の54億7,648万ドルとなった。

2006年2月の中国の繊維品輸出入状況

単位：1000ドル

	輸 入				輸 出					
	2005年実績		2006年1月～2月		2005年実績		2006年1月～2月			前年比
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額		
繊維品合計										
原料(綿)合計	TON	23,446,081	4,416,112	6,817,524	869,790	3,432,765	193	177		
スフ綿	TON	164,419	467,136	16,034	44,332	56	53			
合繊綿	TON	835,306	1,381,998	95,742	157,490	78	83			
(ポリエステル)	TON	346,184	423,153	43,729	52,911	75	77			
(アクリル)	TON	484,623	878,156	48,507	92,277	80	82			
糸合計	TON	1,660,050	4,042,957	241,875	572,874	126	126			
人絹糸	TON	26,236	78,212	3,739	10,528	103	97			
スフ糸	TON	26,879	89,390	2,874	10,177	111	118			
合繊長繊維糸	TON	616,570	1,543,903	86,138	220,073	111	113			
(ナイロン)	TON	251,020	662,585	42,604	114,041	144	154			
(ポリエステル)	TON	295,494	522,692	36,526	66,801	98	100			
合繊短繊維糸	TON	149,671	376,436	14,376	36,148	86	90			
綿糸	TON	793,656	1,697,154	131,605	279,863	147	151			
織物合計	千L	4,638,058	6,009,460	530,189	727,800	93	94			
絹織物	千L	45,693	117,096	4,755	13,016	98	86			
人絹織物	千L	82,694	122,550	6,956	14,074	68	98			
スフ織物	千L	58,124	100,319	5,601	12,678	73	85			
合繊長繊維織物	千L	2,016,102	2,029,732	227,894	229,276	94	96			
(ナイロン)	千L	660,899	585,866	62,847	60,630	76	90			
(ポリエステル)	千L	912,650	1,028,690	118,616	119,028	106	96			
合繊短繊維織物	千L	695,082	792,728	74,894	96,057	83	87			
綿織物	千L	1,564,514	2,159,441	183,040	283,636	97	97			
毛織物	千L	70,407	535,575	5,531	44,109	76	78			
不織布	TON	135,081	490,543	20,171	73,652	115	121			
タイヤコード織物	TON	18,313	71,770	2,827	11,616	90	98			
コーテッド織物	TON	264,082	1,025,710	32,259	134,828	93	112			
ニット生地	TON	460,587	1,879,207	55,159	242,989	108	108			
ニット製衣料			695,240		80,690		154			
布帛製衣料			816,218		122,360		125			
その他			1,597,452		216,792		115			
出所：中国海関統計										

衣料品について主要輸出先をみると、ニット製衣料品は、トップ市場は日本（8億9,314万ドル：16%増）続いてEU（5億9,692万ドル：8%減）香港（5億5,670万ドル：10%増）米国（4億8,096万ドル：14%減）ロシア（1億9,842万ドル：118%増）韓国（1億7,206万ドル：63%増）オーストラリア（1億6,754万ドル：15%増）の順となっており、米国、EUが昨年の激増もあり、減少推移となっており、他方ロシア、韓国向けが激増しているのが注目される。

また、布帛製衣料品の輸出先は1位がEU（12億2,845万ドル：13%増）日本（10億9,304万ドル：4%増）米国（8億7,031万ドル：10%減）香港（5億4,279万ドル：横ばい）韓国（2億1,547万ドル：47%増）ロシア（1億7,718万ドル：52%増）の順で、ここでも、米国、EUの後退、一方韓国、ロシア向けの急増が目立っている。

織物類の輸出は、太宗の綿織物、合繊短繊維織物が好調に推移しているが、ポリエステル長繊維織物の減少が著しく、全体として数量で1%増の23億6,159万メートル、金額で3%増の21億8,610万ドルと数量、金額共に伸び悩んでいる。

糸類の輸出は、合繊長繊維糸、特にポリエステル長繊維糸の増加が著しく、また太宗の綿糸も好調で、全体として数量で35%増の20万8,951トン、金額で32%増の6億9,909万ドルと、数量、金額共に好調な推移となっている。

綿類の輸出も、合繊綿、スフ綿の輸出が大きく伸び、数量で23%増の6万7,724トン、金額で9%増の1億9,881万ドルと大幅に増加した。

【輸 入】

- 28%増の34億3,277万ドルと大幅増 -

繊維品輸入は、織物の輸入は減少しているが、綿類で、国内の綿花不足から特に綿花の輸入が激増しており、全体として28%増の34億3,277万ドルと大幅な伸びとなっている。

この結果、中国の1~2月の繊維品貿易収支の黒字額は前年同月比13%増の125億7,044万ドルとなっている。

< 地域別・国別輸出状況 >

地域別では、東アジアがシェア66%（前年同月比：12%増）を占め、西アジアが4%（同143%増）ヨーロッパが6%（同9%増）北米が11%（同68%増）中米が1%（同21%増）南米が3%（同349%増）アフリカが4%（同404%増）大洋州が5%（同40%増）の市場構成となっている。

国別では、1位日本（5億158万ドル：7%減）続いて台湾（4億5,210万ドル：11%増）米国（3億6,003万ドル：75%増）韓国（3億5,040万ドル：4%減）香港（2億602万ドル：14%増）EU（1億9,516万ドル：6%増）オーストラリア（1億6,304万ドル：38%増）インド（1億5,374万ドル：479%増）ウズベキスタン（1億2,678万ドル：143%増）パキスタン（1億774万ドル：38%増）の順で、この10大市場で全体の輸出の76%のシェアを

占めている。

< 品目別輸入状況 >

品目別輸入を見ると、綿関係では、化合繊の輸入は低調な推移となったが、天然繊維の輸入が綿花の大幅増より大きく伸び、全体として、数量で93%増の8億6,979万トン、金額で77%増の12億4,916万ドルと大幅な増加となった。

糸関係は、太宗の綿糸及び合繊長繊維系、特にナイロン糸の輸入が大幅に伸び、全体として数量で26%増の24万1,875万トン、金額で26%増の5億7,287万ドルと高水準の増加となった。

織物類は、綿織物、合繊長繊維織物等各品目とも総じて低調な推移となり、トータルで数量では7%減の5億3,019万メートル、金額で6%減の7億2,780万ドルとなった。

その他品目では、ニット生地が金額で8%増の2億4,299万ドル、また衣料品は額が僅少であるが、ニット製衣料品が54%増の8,069万ドル、布帛製衣料品が25%増の1億2,236万ドルと高い伸び率となっている。



2005年の繊維品貿易・輸出は2桁の増加、輸入は低調な推移

< 輸出は13%増の86億410万ドルと2桁の増加 >

インドネシアの繊維産業は、枠撤廃による中国品等との競合激化、また国内的には、人件費の高騰など諸経費のコストアップもあり、競争力の低下が懸念されていたが、2005年の繊維品輸出は、枠が撤廃された米国向けを中心に好調に推移し、前年同期比13%増の86億410万ドルとなった。

地域別輸出をみると、シェア35%の北米は23%増、同25%の東アジアが9%増、同23%の欧州は4%増と、主要地域は軒並み増加推移となったが、特に北米向けの好調が目立っている。

主要輸出国は、米国(29億3,027万ドル:24%増)、EU(16億9,877万ドル:横ばい)、日本(4億7,460万ドル:1%増)、アラブ首長国(3億1,078万ドル:15%増)、韓国(2億2,696万ドル:13%増)、トルコ(2億1,323万ドル:54%増)、マレーシア(1億9,463万ドル:1%増)、香港(1億9,028万ドル:4%増)、シンガポール(1億8,227万ドル:21%増)、ブラジル(1億5,574万ドル)、サウジアラビア(1億4,456万ドル:25%増)の順で、EUは苦戦したが、米国を始めその他の主要国は軒並み増加推移となった。

品目別輸出を見ると、最大輸出品目は衣料品で、全繊維品輸出額の57%を占めているが、

このうち、ニット製衣料品は24%増の18億2,591万ドル、太宗の布帛製衣料品は9%増の30億7,368万ドルで、特にニット製衣料品の伸びが目立っている。

ニット衣料品市場のベスト5は、米国(8億5,927万ドル:45%増)、EU(5億7,481万ドル:8%増)、アラブ首長国(6,337万ドル:30%増)、シンガポール(4,506万ドル:6%増)、日本(3,555万ドル:15%増)の順で、特に米国、EU向けで全体の79%と圧倒的なシェアを占めている。

布帛製衣料品市場のベスト5は、米国(18億5,346万ドル:17%増)、EU(6億3,777万ドル:3%減)、日本(8,562万ドル:横ばい)、カナダ(7,118万ドル:10%増)、アラブ首長国(7,048万ドル:8%増)で、ここでも米国、EU向けで81%と圧倒的なシェアを占めている。2005年から枠が撤廃された欧米向けには、中国の躍進による影響が危惧されたが、米国向けは大幅増加、EU向けは減少と対照的な推移となった。

織物類の輸出も健闘し、全体で10%増の12億5,789万ドルとなっている。2004年は大幅に後退した合繊長繊維織物は、6%増の4億9,575万ドルと回復基調となった。

合繊長繊維織物市場のベスト5は、アラブ首長国(1億326万ドル:10%増)、サウジアラビア(5,738万ドル:42%増)、EU(5,587万ドル:10%減)、マレーシア(5,031万ドル:3%減)、トルコ(2,700万ドル:417%増)の順となっている。

その他の織物では、綿織物が12%増の4億1,150万ドル、合繊短繊維織物は16%増の2億7,583万ドルと何れも好調な推移となった。

綿織物の主要市場はEU(8,140万ドル:2%減)、香港(4,557万ドル:11%増)、トルコ(2,902万ドル:139%増)、日本(2,875万ドル:6%減)、バングラデシュ(2,753万ドル:3%増)の順となっている。また、合繊短繊維織物の主要市場は、EU(5,556万ドル:2%減)、日本(3,363万ドル:19%増)、アラブ首長国(2,974万ドル:97%増)、マレーシア(2,206万ドル:44%増)、中国(1,533万ドル:2%減)となっている。

原料関係の輸出も好調で、綿類は、スフ綿が大きく伸び、合繊綿もポリエステル綿が大幅増加となり、綿類全体で24%増の2億4,491万ドルとなった。

また、糸類の輸出は、綿糸は伸び悩んだが、合繊長繊維糸、合繊短繊維糸が大きく伸び、糸全体としては10%増の16億2,135万ドルと好調な推移となった。

< 輸入は7%減の16億553万ドルと低調な推移 >

輸入は、糸関係が金額増となったが、綿関係、織物関係は低調に推移し、全体として3%減の16億553万ドルと低調な推移となった。

地域別では、シェア55%を占める東アジアからの輸入は2%減の8億8,419万ドル、同18%の北米は1%減の2億9,127万ドル、同9%の大洋州は14%減の1億3,855万ドル、同7%のアフリカは29%減の1億1,403万ドル、同6%の欧州は15%減の9,288万ドルと、主要地域は軒並み減少推移となった。

2005年1～12月のインドネシアの繊維品輸出入状況

単位：1000ドル

	輸				入					
	2004年実績		2005年(1～12)		2004年実績		2005年(1～12)		前年比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
繊維品合計		7,647,441		8,604,098		1,718,546		1,605,528		93
原料(綿)合計	TON	152,413	197,805	192,741	244,912	598,265	801,773	93	84	
スフ綿	TON	63,272	97,467	83,434	123,953	14,898	11,240	65	75	
合繊綿	TON	47,177	54,618	63,845	75,429	167,360	238,129	121,177	72	
(ポリエステル)	TON	42,581	48,564	60,993	71,197	73,433	73,044	44,703	61	
(アクリル)	TON	388	476	383	653	88,045	154,434	71,667	81	
糸合計	TON	720,625	1,480,158	795,252	1,621,346	109,434	244,889	108,530	99	
人絹糸	TON	1,866	5,780	2,666	10,609	20,451	64,400	21,467	105	
スフ糸	TON	53,510	125,757	61,121	142,816	132	506	225	170	
合繊長繊維糸	TON	284,239	468,285	326,130	568,620	54,574	106,935	52,702	124	
(ナイロン)	TON	40,640	101,624	34,590	109,724	9,358	26,332	9,995	122	
(ポリエステル)	TON	239,290	350,721	287,017	441,386	38,950	50,816	36,679	144	
合繊短繊維糸	TON	247,826	523,237	280,513	589,269	8,208	16,781	3,791	46	
綿糸	TON	129,567	348,274	123,656	305,107	21,980	50,570	25,707	96	
織物合計		1,142,426		1,257,892		211,658		187,237		
絹織物	TON	1,361	8,503	1,739	9,815	13	136	26	197	
人絹織物		32,618		35,589		5,527		3,096	56	
スフ織物		24,528		24,771		3,393		1,226	36	
合繊長繊維織物		468,358		495,746		67,386		55,308	82	
(ナイロン)		3,081		4,130		6,575		5,207	79	
(ポリエステル)		140,434		145,985		43,569		36,198	83	
合繊短繊維織物		237,205		275,826		24,785		19,496	79	
綿織物		367,363		411,500		102,505		101,720	99	
毛織物	TON	81	625	439	3,404	83	1,940	143	134	
不織布	TON	10,172	21,955	12,220	27,886	10,350	29,586	11,643	112	
タイヤコード織物	TON	19,578	66,653	21,590	88,394	11,086	36,931	15,250	138	
コーテッド織物	TON	5,289	20,031	4,822	23,552	11,775	39,807	9,851	84	
ニット生地	TON	15,607	100,405	13,532	74,540	11,608	72,397	11,711	101	
ニット製衣料			1,475,628		1,825,908		17,015		136	
布帛製衣料			2,814,054		3,073,677		11,229		268	
その他			328,326		365,992		98,774		114	

出所：インドネシア通関統計

国別の主要輸入先は、米国(2億8,425万ドル:1%減)、中国(2億2,290万ドル:35%増)、台湾(1億5,808万ドル:20%減)、豪州(1億3,368万ドル:15%減)、韓国(1億1,258万ドル:24%減)、日本(9,489万ドル:5%減)、EU(7,973万ドル:17%減)、タイ(7,826万ドル:7%増)の順で、中国、タイを除いて何れも減少推移となった。

品目別については、綿関係では、合繊綿、綿花・羊毛等の天然繊維原料の輸入が減少し、綿全体として16%減の8億177万ドルとなった。

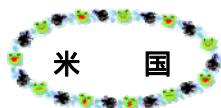
系関係では、合繊長繊維系また人絹系の輸入が金額で増加し、全体で9%増の2億6,704万ドルとなった。

織物類の輸入は、綿織物が微減、合繊(長・短)繊維織物は大きく減少し、全体として12%減の1億8,724万ドルとなった。

その他では、ニット生地 of 輸入は4%減の6,983万ドルと減少、一方タイヤコード織物は68%増の6,205万ドルと大きく増加した。

衣料品の輸入は、未だ額的には小さいが、ニット製衣料品が36%増の2,309万ドル、布帛製衣料品が168%増の3,015万ドルと、主に中国からの輸入急増により、大きな伸びを記録した。

(注)織物の統計は、例えば同じ合繊長繊維織物に分類される織物でありながら、その統計番号により、単位がKGとSMに分かれており、統一された数量が抽出できないため、金額ベースのみの統計となっている。



2006年2月の繊維品輸入、中国が大幅減

2006年2月の米繊維品輸入は、中国からの輸入が10%の大幅減となったことから、全体でも6%減となった。米繊維品輸入の減少は、2002年3月以来のことである。

また、2006年1~2月の輸入は1%の微増にとどまっている。

【2月の輸入】

米商務省が発表した2006年2月の米繊維品輸入は、37億3,900万SME(平方メートル換算)で前年同月比5.7%減となり、前月(7.6%増)および前年同月(19.4%増)の大幅なプラスから一転してマイナスとなった。米繊維品輸入の減少は、2002年3月(0.8%減)以来、約4年ぶりのことである。

この2月の輸入のうち、ノン・アパレル(系、織物、その他繊維製品)が2.5%、アパレルが9.8%のそれぞれ減少となった。

米国の繊維品輸入推移

単位：100万SME、%

	ノン・アパレル		アパレル		合計	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
2000年	16,829	16.0	16,035	13.7	32,864	14.9
2001年	16,708	0.7	16,103	0.4	32,812	0.2
2002年	21,033	25.9	17,256	7.2	38,288	16.7
2003年	23,363	11.1	18,864	9.3	42,227	10.3
2004年	26,985	15.5	19,951	5.8	46,936	11.2
2005年	28,829	6.8	22,010	10.3	50,839	8.3
1月	2,247	5.0	1,646	8.5	3,892	6.4
2月	2,208	17.3	1,759	2.2	3,968	19.4
3月	2,340	4.9	1,728	7.0	4,069	5.8
4月	2,339	1.5	1,550	11.7	3,888	4.4
5月	2,544	8.3	1,704	24.2	4,248	14.2
6月	2,488	1.4	2,065	19.5	4,552	7.1
7月	2,352	0.1	1,991	7.3	4,344	3.3
8月	2,592	8.2	2,160	13.3	4,752	10.4
9月	2,489	12.0	2,127	8.9	4,617	9.6
10月	2,576	13.8	1,917	6.3	4,492	9.3
11月	2,420	9.8	1,770	8.3	4,190	9.2
12月	2,235	5.7	1,596	5.9	3,830	5.8
2006年	4,654	4.3	3,285	3.5	7,939	0.9
1月	2,502	10.9	1,698	3.2	4,200	7.6
2月	2,152	2.5	1,587	9.8	3,739	5.7

注：前年比は増減、 は減少。 出所：米商務省（DOC）

この2月の輸入減は、主として、太宗供給国の中国からの大幅な輸入減少によるものである。中国からの輸入は11億3,900万SMEで10.4%減となった。このうち、ノン・アパレルが1.6%の若干減、アパレルが25.9%の急減となった。中国からの輸入減は、昨年11月に調印した米中政府間協定に基づく輸入規制によるものである。2月の輸入では、アパレルのうち、規制対象品目の綿製ズボン、女性・少女用綿ニット製シャツ、下着などが大幅な減少となっている。なお、中国からの輸入減少は2001年9月以来のことである。

【1～2月の輸入】

2006年1～2月の米繊維品輸入は、79億3,900万SME（平方メートル換算）で前年同期比0.9%の微増となり、前年同期の12.6%増から、大きく減速している。この1～2月の輸入のうち、ノン・アパレルは4.3%増と堅調に伸びたが、アパレルは3.5%減と低迷している。

1～2月の主要地域別輸入状況は、以下の通り。

主要地域別輸入では、いわゆるビッグ4（中国、韓国、台湾、香港）とアセアンに加え、

その他地域の中のパキスタン、インドといったアジア地域からの輸入が伸びているが、米近隣の NAFTA(北米自由貿易協定)パートナー(メキシコとカナダ)、カリブ海沿岸諸国(CBI)からの輸入は低迷している。

○ ビッグ4からの輸入は3.0%増と堅調である。しかし、前年同期の35.5%の急激な増加から大きく減速している。これは、主として上述の通り、ビッグ4の太宗国である中国からの輸入が規制実施により4.1%の一桁台の増加にとどまったことによる。それでも、中国からの輸入は全体の32%を占め、米繊維品輸入市場を支配している。

一方、韓国、台湾、香港は、中国からの大量輸入の煽りを受けて生彩を欠いており、韓国は1.6%の若干増と健闘しているが、香港と台湾はそれぞれ9.8%、2.6%の減少となった。

米国の繊維品輸入推移(主要地域・国別)

単位：100万SME、%

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年 1-2月	前年 同期比
全世界	32,812	38,288	42,227	46,936	50,839	7,939	0.9
NAFTA	7,558	7,722	7,238	7,373	6,892	987	12.5
メキシコ	4,290	4,335	3,926	4,101	3,883	540	10.7
カナダ	3,268	3,387	3,312	3,272	3,009	447	14.8
CBI	3,704	3,830	4,046	4,168	4,169	546	12.4
ホンジュラス	1,032	1,099	1,165	1,209	1,262	167	10.7
エルサルバドル	768	817	895	895	897	115	15.3
ドミニカ共和国	773	743	758	772	725	81	17.9
ビッグ4	5,911	9,348	12,633	16,128	20,595	3,123	3.0
中国	2,211	4,963	8,288	11,662	16,766	2,525	4.1
韓国	1,383	2,032	2,097	2,301	2,028	330	1.6
台湾	1,224	1,391	1,356	1,302	1,083	165	2.6
香港	1,092	962	892	862	721	103	9.8
アセアン	4,390	4,766	4,980	5,140	5,145	942	16.1
タイ	1,308	1,316	1,098	1,114	1,052	183	4.6
インドネシア	1,165	1,215	1,151	1,275	1,354	259	23.9
フィリピン	916	817	794	711	643	108	5.2
ベトナム	33	358	827	905	950	176	21.6
カンボジア	389	474	561	673	740	149	29.0
EU(15カ国)	1,868	2,055	2,059	2,063	1,912	303	8.8
イタリー	521	518	533	462	385	59	13.6
ドイツ	457	551	484	479	453	73	12.9
その他	9,381	10,567	11,272	12,064	12,126	2,038	5.1
パキスタン	2,189	2,537	2,690	2,970	3,291	569	22.2
インド	1,250	1,545	1,666	1,915	2,335	436	22.1
バングラデシュ	1,169	1,150	1,110	1,109	1,314	232	16.5
トルコ	871	1,068	1,026	982	844	112	22.4

アセアンからの輸入では、主力のインドネシア(23.9%増)に加え、新興のカンボジア(29.0%増)とベトナム(21.6%増)がいずれも大幅な増加となり、またフィリピン(5.2%

増)とタイ(4.6%増)も堅調に推移したことから、アセアン全体としては16.1%増と大きく伸びた。なお、アセアンからの輸入は衣料品が中心で、全体の73%を占めている。

一方、米近隣のNAFTAパートナーからの輸入では、衣料品中心のメキシコは10.7%減、織物主体のカナダは14.8%減と何れも大幅な減少となり、両国合わせて12.5%減となった。また、CBIからの輸入は、主要国のホンジュラス、エルサルバドル、ドミニカ共和国がいずれも10%台の減少となり、全体で12.4%の大幅減となった。CBIからの輸入は、アパレルが97%と殆どを占めている。

EU(15カ国)からの輸入は、主力のイタリーとドイツが共に織物の不振でそれぞれ13.6%、12.9%の大幅な減少となり、全体で8.8%減となった。

「その他地域」からの輸入では、パキスタンが22.2%、インドが22.1%、バングラデシュが16.5%のそれぞれ大幅な増加となり、特に東アジア諸国からの輸入が「ポスト・クォータ」のメリットを活かして活発に推移している。

2006年3月の大手小売店販売、減速

60社で1.9%増

米国の2006年3月の大手小売店売上高は、冷たい天候、高いガソリン価格、イースターの遅れ(今年のイースターは、昨年の3月27日から4月16日へと約3週間遅れ)の影響により春物衣料などの季節商品の需要が減速したことから、予想を下回る2%弱の低い伸び率にとどまった。

米国の国際ショッピング・センター協会(ICSC)が纏めた「米チェーン・ストア販売動向レポート」によると、米大手小売店60社の2006年3月の売上高は前年同月比(既存店比、以下同じ)1.9%増となり、前月(3.2%増)及び前年同月(4.1%増)の伸び率を大きく下回った。

大手百貨店の3月の販売は、高級百貨店と一部の中級百貨店を除き全般的に低調で、全体として1.2%の低い伸び率となった。

高級百貨店の販売は、サクスは0.6%の微減となったが、ニーマン・マーカスは7.4%増、ノードストロムは4.3%増と順調に伸びた。

このうち、ニーマン・マーカスは、地域では西部の各ストアとマンハッタンの百貨店「バードルフグッドマン」、商品では女性用のコンテンポラリー・スポーツウエア、イブニング・アパレル、デザイナー・ハンドバッグ、男性用衣料品が好調であった。

米大手小売店の売上高の伸び率推移

単位：％

年月	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
1	5.7	4.8	5.2	1.8	5.9	3.6	5.0
2	6.0	3.1	6.2	0.9	6.8	4.9	3.2
3	2.1	1.7	6.4	-0.2	6.8	4.1	1.9
4	7.9	3.8	1.6	3.1	3.7	2.2	
5	5.0	1.5	3.4	2.0	5.4	2.9	
6	3.7	2.8	5.1	2.4	2.6	5.2	
7	4.4	3.4	2.6	4.2	3.8	3.6	
8	4.2	3.6	1.6	4.9	1.3	3.6	
9	4.3	0.9	1.5	5.8	2.4	4.0	
10	3.8	2.3	3.1	2.4	4.1	4.4	
11	4.0	2.1	0.0	3.3	1.7	3.5	
12	0.7	2.2	1.0	4.3	2.7	3.2	
年間平均	4.0	2.6	3.1	2.9	3.8	3.9	

注：伸び率は前年同月比（既存店比）の増減を示す。

衣料品を主力とするストアの販売状況は、以下の通り。

また、サクスは全体で微減となったが、商品では女性と男性用のコンテンポラリー・アパレル、女性用の“ゴールド・レインジ”アパレル、アウターウェア、男性用服飾品、アクセサリ、家庭用品、シューズ、ハンドバッグがベスト・セール品目であった。

中級百貨店は、コールズが3.7%増となったものの、ディラードとフェデレーテッドは横ばい、J.C.ペニーは1.0%減となった。このうち、ディラードは全体で横ばいとなったが、商品ではランジェリー、アクセサリ、シューズ、室内装飾品、家具、また地域では西部の販売が伸びた。

大手衣料品専門店チェーンの販売は、イースターの遅れによるイースター・ホリデー用春物衣料品の需要停滞で打撃を受けたことから一部を除き低調で、全体として3.6%の減少となった。

若者向け衣料品専門店チェーンでは、エアロポステールは9.3%減、パシフィック・サンウェアは10.9%減、ギャップ13.0%減と、いずれも大幅な落ち込みとなった。また、アバנקロンビー&フィッチは横ばいとどまった。

このうち、衣料品専門店チェーン最大手のギャップは、引き続き客足が低調で、傘下のオールドネイビーが15%減、ギャップ・ストアが13%減、バナナリパブリックが7%減と、各部門とも減少となった。

また、アバנקロンビー&フィッチでは、女性用ジーンズの販売が不調であった。

一方、アメリカン・イーグルは3.0%増、リミテッド・ブランドは2.0%増と健闘した。
このうち、アメリカン・イーグルはニット商品、ショーツ、ジーンズといった主力商品が好調であった。

キャリアウーマン向け衣料品専門店チェーンも低調で、アン・テラー・ストアが0.8%の微増、タルボットが3.4%減となった。

このうち、アン・テラー・ストアは、「アン・テラー・ロフト部門（手頃価格衣料品店）が2.6%減となったが、アン・

テラー部門（高級衣料品店）は5.7%増となった。特に、アン・テラー部門は、引続くドレス、スカート、スーツの好調な販売により8カ月連続の増加となり、アン・テラー・ロフト部門の減少を補った。

大手ディスカウント・ストアの3月の販売は、全体で1.0%増と僅かな伸びにとどまり、ターゲットは2.2%増、ウォル・マートは1.4%増となった。

このうち、世界最大の小売企業であるウォル・マートの首脳は、特に衣料品について「プライベート・ブランドの“メトロ 7”ラインの女性用アパレルが予想以上の好反応を得ており、またアクセサリー、シューズといった同ラインの商品も女性客から好まれているので、今後同ラインの商品の販売店を9月1日までに1,500店に拡大し、商品の種類も増やして行く」と説明している。

米主要小売店の2006年3月の販売状況

単位：100万ドル、%

小 売 店 名	売 上 高	
		前年同月比
<百貨店>		
ディラード	633	0.0
フェデレーテッド	2,257	0.0
J.C.ペニー	1,274	-1.0
コールズ	1,230	3.7
ニーマン・マーカス	374	7.4
ノードストロム	703	4.3
サクス	360	-0.6
<衣料品専門店チェーン>		
アバクロンビー&フィッチ	257	0.0
アメリカン・イーグル	202	3.0
アン・テラー・ストア	213	0.8
エアロポステール	95	-9.3
ギャップ	1,350	-13.0
リミテッド・ブランド	788	2.0
メンズ・ウエアハウス	148	-0.9
パシフィック・サンウエア	117	-10.9
タルボット	195	-3.4
<ディスカウント・ストア>		
ターゲット	4,789	2.2
ウォル・マート	30,619	1.4



2005年の繊維品域外貿易・輸出入共に若干の増加

EU 統計局 EUROSTAT によれば、2005年のEUの繊維品輸出は、ドルベースで前年比1%増の453億6,949万ドル、輸入は5%増の907億1,621万ドルと、輸出は微増、輸入は若干増で推移した。

<輸 出 状 況>

輸出を地域別にみると、欧州が45%のシェアを占め2%増、続いて東アジア(シェア18%)が3%増、北米(同14%)が2%減、アフリカ(同12%)が5%減となっており、この4地域で全体の89%を占めている。

国別のベスト10は、米国(58億4,934万ドル:2%減)、スイス(45億3,582万ドル:2%増)、ルーマニア(35億2,111万ドル:5%減)、ロシア(30億7,446万ドル:23%増)、トルコ(23億6,302万ドル:9%減)、日本(23億4,019万ドル:1%減)、チュニジア(21億1,294万ドル:9%減)、モロッコ(18億7,282万ドル:6%減)、香港(18億7,058万ドル:3%増)、ノルウェー(13億3,014万ドル)の順となっている。

品目別の輸出では、原料関係は、綿類が数量で13%増の77万2,787トン、金額で17%増の15億7,948万ドルと数量・金額共に好調に推移したが、糸類は数量で5%減の43万3,457トン、金額で6%減の29億1,133万ドルと数量・金額共に減少推移となった。

また、織物類の輸出は、数量で5%減の28億1,335万SM、金額で6%減の96億1,916万ドルと数量・金額共に低調な推移となった。

織物類輸出の内訳は、主力の綿織物が数量で5%減の10億6,722万平方メートル(SM)、金額で6%減の39億2,545万ドル、合繊長繊維織物が数量で1%減の8億2,025万SM、金額で4%減の13億9,501万ドル、合繊短繊維織物が数量で14%減の4億1,947万SM、金額で12%減の12億3,296万ドル、毛織物が数量で11%減の1億7,986万SM、金額で4%減の16億7,485万ドルで、何れも低調な推移に終わった。

一方、EUの繊維品輸出の41%を占める最大輸出品目の衣料品は、ニット製衣料品が4%増の63億4,799万ドル、布帛製衣料品が6%増の120億8,691万ドルと各々全体の輸出の伸びを上回る高い伸びを記録し、順調な推移となった。

<輸 入 状 況>

輸入については、地域別では、東アジアからの輸入が58%を占め13%増、続いてヨーロッパ(シェア27%)が横ばい、アフリカ(同9%)が7%減となっており、この3地域で全輸入の95%を占めているが、枠の撤廃による東アジアからの輸入増が目立った。

国別のベスト 10 は、中国（261 億 5,115 万ドル：41%増）、トルコ（136 億 1,323 万ドル：4%増）、インド（65 億 3,929 万ドル：18%増）、ルーマニア（49 億 7,779 万ドル：5%減）、バングラデシュ（45 億 8,977 万ドル：5%減）、チュニジア（33 億 2,693 万ドル：6%減）、モロッコ（29 億 3,118 万ドル：8%減）、パキスタン（25 億 3,562 万ドル：13%減）、香港（21 億 5,849 万ドル：15%減）、インドネシア（19 億 6,001 万ドル：10%減）、スイス（17 億 7,856 万ドル：8%減）の順となっている。

2005 年から枠が撤廃され、中国、インドがこの恩恵を受けて輸出を大きく伸ばしたが、逆にその他諸国の多くはこの 2 国の攻勢に押され、減少傾向となったのが 2005 年の EU の輸入の特徴となっている。

品目別輸入については、原料では、綿関係が数量で 8%減の 150 万 8,159 トン、金額で 10%減の 31 億 6,946 万ドルと数量・金額共に減少推移、糸関係も数量で 4%減の 115 万 3,323 トン、金額で 2%減の 38 億 3,068 万ドルと数量・金額共に減少した。

織物関係は数量で 6%増の 59 億 3,367 万 SM となったが、金額では 6%減の 50 億 5,205 万ドルと数量増の金額減となった。

織物の内訳では、綿織物の輸入が数量で 8%増の 22 億 5,929 万 SM、金額で 4%減の 19 億 6,981 万ドル、合繊長繊維織物が数量で 11%減の 15 億 8,490 万ドル、金額で 15%減の 12 億 9,324 万ドル、合繊短繊維織物が数量で 5%減の 10 億 7,076 万ドル、金額で横ばいの 8 億 1,977 万ドルとなった。

また、全体の輸入の 73%を占める衣料品は、ニット衣料品が 7%増の 297 億 3,861 万ドル、布帛製衣料品も 7%増の 365 億 1,345 万ドルと、枠の撤廃もあり、中国、インドを中心に高い伸び率となった。

この結果、2005 年の EU の繊維品貿易赤字は、前年比 10%増の 453 億 4,671 万ドルと 2 桁の大幅な増加となった。

組合関係の会議と催事

【2006年4月】

輸出入

・「第10回日中繊維貿易定期協議」を開催。

輸出

・「平成18年度第1回企画委員会」を開催。
・「第26回理事会」を開催。

輸入

・「第337回理事会」及び「第140回企画委員会」を開催。
・「第4回組合運営に関するタスクフォース」を開催。

3日(月)

輸出入(東京) 輸入組合・輸出組合と中国紡織品進出口商会との「第10回日中繊維貿易定期協議」(日本側団長/足立副理事長、中国側団長/王瀋陽会長)が輸入組合東京本部で開催され、日本側より「日本の繊維品輸出入状況及びFTA等の影響」中国側より「中国の紡織品輸出入状況及び対欧米輸出規制等の影響」についてそれぞれ報告の後、意見交換が行われた。併せて日中双方団長により「備忘録」の調印が行われた。

4日(火)

輸入(大阪) 日本黄麻製品輸入協議会「第119回運営委員会」(塩田委員長)が開催され、2005/6年度予決算 総会開催日 2006年度事業計画について審議が行われた。

6日(木)

輸入(東京) 尾川アパレル委員長、長田副委員長がスコットランド国際開発庁を往訪し、アパレル委員会ミッションの派遣に際し、協力依頼を行った。

7日(金)

輸入(東京) 尾川アパレル委員長がアイルランド政府商務庁を往訪し、アパレル委員会ミッションの派遣に際し、協力依頼を行った。

11日(火)~12日(水)

輸出(大阪) あずさ監査法人により会計監査が行われた。

14日(金)

輸入(東京) 「第4回組合運営に関するタスクフォース」(池西議長)が開催され、中期収支見通し 組合の剰余金運用 日タイFTA交渉及び協力案件 貿易政策調査研究(インド・タイ)報告 次年度事業について審議が行われた。

17日(月)

輸入(東京) 高橋公認会計士による会計監査が行われた。

18日(火)

輸入(東京) 「平成17年度監事会」が開催され、平成17年度決算の会計監査が行われた。

19日(水)

輸入(東京)ベトナムとのFTAに関する打合せが行われた。

21日(金)

輸出(大阪)監事会(豊島、島田監事)が開催され、平成17年度決算の会計監査が行われた。

24日(月)

輸出(大阪)「平成18年度第1回企画委員会」(議長:岩佐委員長代行)が開催され、平成17年度事業報告書・収支決算書、平成18年度事業計画・予算各案などについて検討が行われた。

26日(水)

輸入(東京)「第140回企画委員会」(岩佐委員長代理)が開催され、2005年度(平成17年度)第43期事業報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書、各案承認 2006年度(平成18年度)第44期事業計画書及び収支予算書案承認 賦課金について FTAの進捗状況 アパレル委員会海外調査ミッション 業務報告(日中繊維貿易定期協議、インド及びタイ調査報告、日本繊維輸入組合北京代表処)についてそれぞれ説明及び審議が行われ承認された。

28日(金)

輸出(東京)第26回理事会(議長:足立副理事長)が開催され、平成17年度事業報告書及び収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録、各案承認に関する件、平成18年度事業計画書及び収支予算書案承認に関する件、平成18年度における加入金、賦課金の額並びにその徴収の時期、方法案の承認に関する件、役員の任期満了に伴う次期役員候補者の推薦に関する件、平成18・19年度の各委員会の委員選出に関する件、参事の任命に関する件、第7回通常総会の開催日時及び場所決定に関する件について審議が行われた。

輸入(東京)「第337回理事会」(足立副理事長)が開催され、2005年度(平成17年度)第43期事業報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書、各案承認 2006年度(平成18年度)第44期事業計画書及び収支予算書案承認 任期満了に伴う役員改選 賦課金について FTAの進捗状況 アパレル委員会海外調査ミッション派遣 業務報告(日本繊維輸出組合・日本繊維輸入組合/上海分会設置、インド・タイ調査報告、日本繊維輸入組合北京代表処、日中繊維貿易定期協議)についてそれぞれ説明及び審議が行われ承認された。

(大阪)「第82回中国アジア専門委員会」(細田委員長)が開催され、本年度ミッションの派遣国と時期 台湾「2006年TITAS」展示会招待について意見交換が行われた。

5月のスケジュール(5月1日現在)

2日(火)	輸入	(大阪)	「寝具インテリア委員会」
	輸入	(大阪)	「日本黄麻製品輸入協議会・2006年度会計監査」
9日(火)	輸入	(大阪)	「日本黄麻製品輸入協議会・第24回(2006年度)通常総会」
11日(木)	輸入	(大阪)	「第25回綿委員会」
12日(金)	輸入	(大阪)	「インド・タイからの繊維輸入に関する調査結果報告会」
16日(火)	輸入	(東京)	「インド・タイからの繊維輸入に関する調査結果報告会」
22日(月) ~26日(金)	輸入	(大阪)	インド「TEXPROCIL来日ミッション」受入れ
29日(月)	輸出入	(東京)	「輸出組合/第7回通常総会」及び「輸入組合/第43回通常総会」 「輸出組合/第27回理事会」及び「輸入組合/第338回理事会」 「合同懇親会」



お知らせ

輸出入組合合同の通常総会及び懇親会の案内

日本繊維輸出組合・日本繊維輸入組合は、本年5月29日(月曜日)東京の東京會館・12階「ロイヤルルーム」にて、以下の通り事業報告・計画及び決算・予算等に関する合同の通常総会及び懇親会を開催しますので、ご出席下さいますよう案内致します。

なお、ご出欠につきましては、5月1日付けご案内書添付の葉書(組合委員各位)又は出欠連絡票(役員・委員各)にて各組合宛にご連絡願います。

・日本繊維輸出組合 第7回通常総会

1. 開催日時 平成18年5月29日(月曜日)午後3時30分～4時20分
2. 開催場所 東京會館 12階「ロイヤルルーム」
3. 議 題
 - 第1号議案 平成17年度事業報告書及び決算書(案)について
 - 第2号議案 平成18年度事業計画及び収支予算(案)について
 - 第3号議案 平成18年度の加入金及び賦課金(案)について
 - 第4号議案 任期満了に伴う役員改選について など

・日本繊維輸入組合 第43回通常総会

1. 開催日時 同 上 午後4時30分～5時20分
2. 開催場所及び議題 同 上

・日本繊維輸出組合、日本繊維輸入組合 合同懇親会(パーティ)

1. 開催日時 同 上 午後5時30分～7時
2. 開催場所 東京會館 12階「ロイヤルルーム」

「繊維の基礎知識」研修会(京阪神地区)の開催(輸出入組合)

日本繊維輸出組合、日本繊維輸入組合および社団法人テキスタイル倶楽部は、組合員・会員各位の若手社員・新入社員に対する教育補完の一環として、以下により「繊維の基礎知識」(被服素材、縫製、染色加工等の基礎知識)研修会を開催することとなりましたので、お知らせ致します。

本研修会は、初心者向けのものですので、新入社員及び若手社員の方には奮ってご参加頂きたく、受講御希望の向きは4月18日付け組合員・会員通知同封の受講申込書により、以下の連絡先にお申し込み下さい。

1. 日 時：平成18年6月1日(木)、2日(金) 午後1時～4時
2. 場 所：輸出繊維会館中地階(BM)ホール(大阪市中央区備後町3丁目4-9)
3. 受講料：無料(繊維輸出組合、繊維輸入組合及びテキスタイル倶楽部の組合員・会員に限る)
4. 講師及び研修項目
 - 第1日 6月1日(木) 午後1時～4時
(財)日本繊維製品品質技術センター 西部事業所 課長 舟木 圭氏

被服素材について（繊維・糸の種類、織物・ニットの種類）
縫製について（布帛の縫製、ニットの縫製）

第2日 6月2日(金) 午後1時～4時

(財)日本繊維製品品質技術センター 西部事業所 課長 大井誠治氏
染色加工について
性能試験と品質基準及び安全性
製品に必要な品質基準
クレーム事例と対策

5. 連絡先

日本繊維輸出組合 TEL: 06-6201-1812 FAX: 06-6201-1819
日本繊維輸入組合 TEL: 06-6202-5575 FAX: 06-6202-5585
(社)テキスタイル倶楽部 TEL: 06-6203-4120 FAX: 06-6203-4119

繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」
(輸出組合)

以下に掲げる保険申込書の「保険責任期間」が、平成18年6月末日に終了しますので、延長を必要とするものがありましたら、必要書類を添付の上、組合に申請してください。保険責任期間が「6ヵ月」延長されます。

- * 平成17年12月に新規提出された決済条件が、「前受け」のもの
- * 平成17年6月に新規提出された決済条件が、「前受け」以外のもの

(注) 当初の保険責任期間は「前受け」6ヵ月、「前受け以外」12ヵ月となっております。

1. 提出期限：平成18年6月20日(火)
2. 提出書類： 貿易一般保険包括保険(繊維品)
保険期間延長依頼書 2通
(用紙は事務局で準備しています。)
延長を必要とする包括保険申込書のコピー 1通
3. 提出先:総務部(☎06-6201-1832)

なお、延長手続きのFAXによる申込みも可能です。(FAX:06-6201-1814)
保険期間終了の保険申込書番号は以下の通りです。

前受けに係る2005年12月度受付保険申込書番号

受付局区分 記号	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 5	107671 ~ 108173 5010121 ~ 510997	103481 ~ 103872	100338 ~ 100359

前受け以外に係る 2005 年 6 月度受付保険申込書番号

記号 \ 受付局区分	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 5	103844 ~ 104505	101497 ~ 101935	100180 ~ 100213
	504674 ~ 505487		

「カーボヴェルデ」向け他 3 カ国の保険引受方針変更（輸出組合）

このたび独立行政法人日本貿易保険（NEXI）から、“「カーボヴェルデ」（国コード：522）向け他 3 カ国の国カテゴリー及び引受方針を変更し、実施日より適用する”旨連絡がありましたので、通知します。この結果、以下の取扱いとなります。

1. 国倍率の緩和（通常国）

<国コード>	<国 名>	<国 倍 率>
550	ナミビア	3.0倍（3.8倍）

2. 引受方針変更（条件付引受国 3 カ国）

<国コード>	<国 名>	<国 倍 率>	<引受限度額>	<ILC取得条件>
522	カーボヴェルデ	6.0倍（8.0倍）	10億円（5億円）	有り（据置）
602	パプアニューギニア	4.5倍（6.0倍）	10億円（据置）	無し（据置）
133	イラン	4.5倍（3.8倍）	10億円（30億円）	有り（据置）

* 国倍率（地域差料率）とは、非常危険てん補に係る保険料計算に適用される基本料率に対して掛けられる倍率です。

なお、ユーザンスが 6 ヶ月を超えるものは、ベルン・ユニオンのルールに基づき、従来どおり引受けられません。

3. 実 施 日：平成 18 年 4 月 28 日

お知らせ

「タイ国衣料品展示商談会」2006 in TOKYO/OSAKA 開催の案内

タイ国政府商務省輸出振興局(D E P)では、来る5月29日(月)から大阪にて、6月1日(木)から東京にて「タイ国衣料品展示商談会 2006 in TOKYO/OSAKA」を開催いたします。この度は衣料品・アクセサリーからテキスタイルまでタイ国輸出企業30社が来日するほか、タイ国政府のプロジェクト「T3(THAI TEX TREND)」及び「THAI CLUSTER」を特別展示でご紹介いたします。

〔開催概要〕

- ・主催者：タイ国政府商務省輸出振興局(D E P)
- ・日 時：(大阪会場) 2006年5月29日(月) 13:00~17:00
30日(火) 10:00~17:00
会場 --- 大阪サンライズビル 3階ホール
大阪市中央区備後町 2-6-8(丸紅大阪本社北隣)
- (東京会場) 2006年6月1日(木) 11:00~18:00
2日(金) 11:00~18:00
会場 --- ラフォーレミュージアム原宿
東京都渋谷区神宮前 1-11-6(ラフォーレ原宿6階)
- ・出展者：タイ国衣料関連企業約30社(輸入組合に出展者リスト保管)
- ・入 場：無料
- ・特別展示： T3(THAI TEX TREND)---タイ国政府商務省輸出振興局が進めているテキスタイル開発プロジェクトT3。イタリアの有名デザイナーの指導のもと11社が参加。今回は2007年春夏向けに発表されたコレクションをご覧ください。(テーマ：1900年代ヨーロッパ土産/スポーツと職人との出会い/ネオンの視覚的芸術)
THAI CLUSTER：タイ国政府商務省輸出振興局の指導のもとタイ国衣料品・テキスタイル業界のトップメーカー31社が団結、イタリアのデザイン会社の指導でクォリティーの高い製品を生み出しています。今回はタイ・クラスタの生産品からヨーロッパの展示会で紹介された2006年秋冬物をご覧ください。
- ・問合せ先： 大阪 --- タイ国政府貿易センター大阪
T E L : 06-6262-4418
東京 --- タイ国大使館商務参事官事務所
T E L : 03-3221-9482

お知らせ

- 2006年6月の輸入通関手続相談窓口開設日 -

2006年6月の輸入通関手続相談窓口は下記要領により開設します。申告手続、品目分類、関税評価、暫8手続等々通関業務諸問題についてご相談の向きはご連絡下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日 2006年6月7日(水)及び6月21日(水)
2. 場所 日本繊維輸入組合 東京本部
3. 時間 午後1時より午後5時まで
4. アドバイザー 片山 喬次
(元東京税関関税評価部門特別価格審査官)
5. 連絡先

Tel 番号 03(3270)0791

Fax 番号 03(3243)1088

E Mail 0023@jtia.or.jp (片山)

なお、事前の面談申込みや相談窓口開設日以外のお問合わせ、ご質問につきましては、事務局がお取次ぎ致しますので、本件事務局担当：国信までご連絡下さい。

以上

組合員情報

組合員の脱会

(輸出入) 株式会社トーメン(2006年4月1日付け)